

会長挨拶

「五久会」会長 浅野益正



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては目まぐるしく変わる世相の中ではあります。清々しい新しい年を迎えられた事とお慶び申し上げます。内藤久歳議員の後援会機関紙『五久会だより』も平成十五年七月に創刊号を発行して以来、今号で第五号を数えるに至りました。これも偏に日頃よりご支援、ご協力をいただいております。皆様方のおかげであると、心より感謝申し上げます。

平成十五年七月、敷島町議会議員としての第一歩を踏み出させていただいた内藤議員は、平成十六年九月一日、竜王・双葉・敷島三町合併による甲斐市の誕生に伴い、甲斐市議会議員となりました。そして、平成十八年四月十六日の甲斐市議会議員選挙に再度当選させていただき、今日に至っております。

またこの五年間、『水と緑の町竜王町』『緑とふれあいの町双葉町』『緑とやすらぎの町敷島町』という旧3町のキャッチフレーズを念頭に置きつつ、『笑顔あふれる爽快都市・甲斐市』実現のため、常に真摯な気持ちで議員としての一日一日を過ごしております。我々五久会会員一同も心を引き締めて活動し、来るべき正念場に向けて一致団結して邁進してゆく所存であります。

さて、年頭に当たり、暦について触れてみたいと思います。日本には百済から五三九年頃伝えられたといわれています（元嘉歴）。立春正月制を用いていたこの暦は一六八四年『貞享暦』となりその後『宝暦暦』となり明治を迎えます。旧暦の明治五年十一月九日に明治政府が改暦の詔書を発表し、太陰暦を太陽暦に改め十二月三日をもって明治六年一月一日としました。月

は太陽光線を最も多く受ける時を陽の「満月」、最も小さく受ける時を陰の「新月」と呼び、「上弦」は新月と満月の間、「下弦」は満月と新月の間を指します。太陰暦では月の「満ち欠け」が二九日半であることから、大の月を三十日、小の月を二十九日としました。その十二カ月を一年とすると日数は一年で二五四日となり新暦より一日少なくなるので、十九年に七回の閏月（十三番めの月）をとり日数の調整を行っていました。今は一年三百六十五日と六時間、四年に一度の閏年の設定で地球の公転と合致しています。人の暦も思いと合致させたいものです。

終わりに、今年もご指導、ご鞭撻をお願い申し上げますと共に皆様方のご健康を祈念致し、新年の挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

甲斐市議会議員 内藤 久歳

内藤 久歳



新年明けましておめでとうございます。

輝かしい新春を迎え、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。旧年中は議会活動に深いご理解とご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

さて、昨年世界中が注視する中で行われたアメリカ大統領選挙ではアメリカ史上初の黒人大統領が誕生しました。人種の境界を超えた選択は米国の良心を感じさせました。一方でアメリカのサブプライムローンに端を発した世界的な金融危機の影響で日本経済は大きく揺らいでいます。アメリカの自動車産業の経営不振を受け、日本では製造業を中心とした派遣社員の契約が期限切れを迎える『2009』問題が深刻さを増し、自動車業界や大手メーカーが次々と人員削減策を発表し、雇用の不安が大きく広がっています。業者の増加が心配されるどころです。また国政においては福田首相の突然の辞任後、5名の立候補者の中から麻生氏が首相に指名され麻生内閣が発足しました。来たるべき衆議院選挙の顔として期待されましたが、内閣の支持率はト

がる一方で、ある新聞社の調査では「期待はずれ」「もっとも期待していない」と答えた人が8割を超えています。年金問題、後期高齢者医療制度、景気対策、社会保障制度問題など国民生活に直結した課題が山積しており、解散総選挙を含め行き詰まりを打開する決断が必要だと思ひます。また山梨県においては県民の命を守る総合病院として、県立中央病院が公務員型の特定独立法人として新たな病院運営を目指しています。安心して医療が受けられ財政的にも健全な病院になつてほしいと願っております。

また、甲斐市においては藤巻市長の任期満了による引退に伴い、次期市長として保坂武氏が選出されました。国政の経験を生かし地方自治の原点に立ち「緑と活力あふれる生活快適都市」の実現に向け、手腕を発揮してほしいと思ひます。昨年3月に南北自由通路が開通した竜王駅は甲斐市のシンボルになりつつあり、期待するところです。

新しい年が明るく希望に満ちた年になることをご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

『総務教育常任委員会研修』平成二十年十月三十日、三十一日

研修地「愛知県高浜市及び滋賀県米原市」

【内容】高浜市から「持続可能な自立した基礎自治体の確立」民間提案型業務改善制度の提案「トヨタ方式」による改善推進研修の導入。米原市から「公共交通道路廃止による公共交通の確保」「らくらくタクシー」まいちゃん号の運行

『甲斐クラブ会派研修』平成二十年十一月十八日、十九日

研修地「福島県会津若松市及び茨城県ひたちなか市」

【内容】会津若松市から「議会基本条例及び議員政治倫理条例の制定について」ひたちなか市から「行財政改革、議会改革に関する取り組み」一回の研修で行財政改革や議会改革等に関する各市の取り組み問題点が理解できました。今後の議会活動に生かしていきます。

『議会活動報告』

昨年5月の臨時会に於いて常任委員会の改選が行われ、委員会には総務教育常任委員会及び議会運営委員会の在籍となり、議会運営委員会では委員長に任命され責任の重さを感じながら日々努力しています。行財政改革、議会改革を推進し市民本位の開かれた市政を追求していきたいと思ひます。平成二十年第一回定例会において代表質問を行いました。

★地域活性化への取り組みについて

（質問）特産品開発ブランド化の進め方は？

（答弁）総合計画で位置づけられた地域ブランド戦略で推進プロジェクトでの資源の拾い出し等を絡ませ、各種団体と連携を図りながら新たな取り組みを模索している。

（質問）駅を中心とした周辺の土地利用及び街づくりの構想は？

（答弁）商業、生活、住宅機能の集積地区として民間による整備を誘導していくことが必要と考えられている。今後は土地所有者対象の勉強会等を開催し都市計画マスタープラン等とも関連をとり地域の活性化に努めていく。

（質問）指定管理者が行う3温泉施設のサービス向上策は？

（答弁）開館時間の1時間延長や元旦を除く年末年始の開館日増加、無料の送迎バスの運行、健康運動教室の開催等が予定されている。

（質問）新たな産業の創出・育成についてコミュニティビジネス NPO 法人等の活動の支援状況はどうか。

（答弁）現在、市に主たる事務所を設置しているNPO法人は十一団体で各分野で積極的に活動している。今後は協働による手法を調査研究し連携による街づくりを進めていく。

（質問）北部自然資源の活用と開発は？

（答弁）山梨百名山の茅ヶ岳、曲岳黒富士等豊かな自然環境を活用し北部地域の魅力の発信に努める。

★循環型社会の構築を

（質問）グリーン購入の現状と今後の取り組みは？

（答弁）今後も積極的にグリーン購入に努め、グリーン購入指針の策定とグリーン購入ネットワークへの参加も検討していく。また、市民にも広報誌やホームページを通じて普及啓発を図っていく。

（質問）バイオディーゼル燃料精製を導入する考えは？

（答弁）学校給食の調理で排出される廃食油を民間企業が回収し、バイオディーゼル燃料化を進めており、精製施設の導入は事例を調査していきたいと考えている。

（質問）自然環境に優しい風力発電や太陽光発電等の推進は？

（答弁）風力発電は年間を通して安定した風力を得られる場所や騒音などの課題があり今後も研究していく総合計画をふまえ、コスト等を勘案しながら公共施設への太陽光発電の普及を進め、一般家庭や事業所等への新エネルギーに関する情報提供や利用促進にも努めていく。

本年も積極的に質問をし、皆様方の要望を議会に反映し、活発な議会活動が出来るよう頑張ります。

内藤久歳議員の後援会『五久会』は昨年度も積極的に各種活動を実施してきましたが、今号ではその活動の一部「懇親会と餅つき」につきまして写真を交えてご紹介いたします。まず今回で3回目となる懇親会「ふれあい意見交換会」を10月19日マウントワイン敷島醸造にて開催しました。90余名の参加者は好天に恵まれた中、バーベキューに舌鼓を打ちながら、生バンドによるカラオケ・美女揃いのフラダンス・日本舞踊等々を観賞しました。途中各グループごとの意見交換等を織り交ぜながら、最後は歓声の中での抽選会で締めました。皆、仲秋の一日を存分に楽しみ有意義な時を過ごしました。次に12月6日に行った「餅つき&介護施設慰問」についてご報告いたします。午前8時、事務所前に集合した“餅つき隊”の面々は去年の反省点をチェックしながら、それぞれ手際良く担当の作業を消化、30分後には一臼目の餅つきが始まりました。つき手と返し手の呼吸もなかなかよく、次々と餅がつき上がり、3種類（あんこ・胡麻・黄な粉）のもちと伸び餅が完成していきました。そして、このつきたての餅を昨年に引き続き市内にある地域グループホーム『雀のお宿』と小規模多機能型居宅介護事業所『げんき甲斐』の2ヶ所に、いつまでも元気でいて欲しいという想いを込め、お裾分けとしてお届けいたしました。双方の方々共にとても喜んでいただき、内藤市議ご夫妻も嬉しそうでした。これからも地域の皆様に喜んでいただけるような活動をしていきたい、という思いを確信できた一日でした。

尚、毎月1回第2日曜日に内藤市議を囲む学習会を開催しておりますので、お気軽にお問い合わせまたご参加頂けたら幸いです。

恒例の五久会『懇親会』&『餅つき』&『介護施設慰問』を実施しました！

1年間積極的に活動をしてまいりました！！



今年も皆様のお役に立てるよう頑張ります！



『あなたと共に創る笑顔あふれる甲斐市』

本年もよろしく願い申し上げます！

発行責任者 浅野益正（五久会会長）

編集・発行 内藤ひさとし後援会事務所 甲斐市中下条 217-9（TEL）055-277-8001

内藤市議ホームページ URL <http://park22.wakwak.com/~hisa-naito/>